

ケニアにクリスマスカードを送ろう！

とっても早い、メリークリスマス。



ケニアの子どものスポンサーとなってくださっている皆様へクリスマスカードのご案内です。大変早い時期のお願いで申し訳ありません。

時期的に、クリスマスカードは手に入りにくいと思いますが、普通のカードで結構ですので、子ども宛に Merry Christmas! と書いてお送りください。

受付の締め切りは8月1日ですので、日本事務所に7月末までに到着するようにお送りくださいますようお願いいたします。(日本事務所の詳細は最終ページをご覧ください)

ケニアは郵便事情が大変悪く、現地に届くまでに数ヶ月かかることもあることと、ケニアの年度末で、子どもたちが休みに入る前に手渡す必要がありますので、どうかご理解の上、ご協力をお願いします。

もし間に合わない場合でも、新年に渡しますので大丈夫です。遅くなっても、自分のためのカードなどほとんど手にしないスラム街の子どもたちにとって、自分宛のクリスマスカードをもらうことは大変大きな喜びです。

なお、ケニアのキャンプとクリスマスプレゼントの募集は、来月のレポートでご案内します。ご計画に入れていただければ感謝です。



ニューヨークでのインターンシップ研修を受けてこられた楊(Yan)様の体験レポート。アメリカのスラムの現状を垣間見ることのできる貴重な内容です。様々な経験を通して、子どもたちとの関わりから、ご自身にとっても重要な日々を経験されたことがうかがえます。詳細は3ページの記事をご覧ください。



6月上旬に来日したメトロ・フィリピンのスタッフ、ハンナ・ロビンズさんを複数の教会やグループの皆様が温かく迎えてくださいました。報告会を計画してくださいました皆様に心より感謝申し上げます。今回の活動の一部を掲載いたしました。関連記事は4ページをご覧ください。

ケニアへクリスマスカード！

ケニアの子どものスポンサーの方へ
子どもにクリスマスカードをお送りください。
7月末までに日本事務所に
届くようお願いいたします。

今月号の目次

- P2…インターンシップ体験談
- P3…インターンシップ体験談／ハンナ姉妹現地報告会レポート
- P4…日本事務所からの最新情報
／連絡先など基本情報

ニューヨークでの インターンシップを通じて

今年の春、アメリカの NY 本部でインターンシップの研修に行かれた楊 祈恵 (Yan Kie) 様からのレポートをご紹介します。



前列、左から二人目が楊様

今回私はメトロワールドチャイルド（以下、「MWC」）の4カ月インターンシップに参加してきました。私が初めてこのインターンシップについて知ったのは2年半前、偶然参加したセミナーで出会ったビル先生に誘われて、MWCを訪問した時でした。アメリカの大学に進学し6年ほどLAに住んでいたため、語学の不安はそこまでありませんでしたが、4カ月仕事を休んで新たな環境に飛び込むことは、自分にとってかなりのチャレンジでした。でもこのチャレンジを通して、神様は私の想像を遥かに超えて、私の人生に変化を与えてくれました。詳細は書ききれませんが、インターンシップの様子を少しご紹介させて頂きたいと思います。

インターン生の生活

2018年春学期のインターン生は、ドイツ、イギリス、フランス、フィンランド、ブラジル、ウクライナ、メキシコ、シンガポール、マレーシアといった、18歳から31歳までの国際色豊かなメンバーでした。MWCでのインターン生活は寮での共同生活。日中は授業やミニストリーの準備・運営、朝と夕方はカフェやバスルームといった共同エリアの掃除や食事の手伝いなどがあり、その合間をぬって教会学校のレッスンの準備をします。



日々のご飯

集中研修とチーム配属

インターンシップでは最初の2週間、Sidewalk Sunday School（＝道端教会学校）の運営方法や、クリスチャンとしての心構えなど、MWCのミニストリーに参加する上で必要な知識やスキルを勉強します。訓練プログラムはとても実践的で、教会学校を運営する上での注意点から、子どもたちの盛り上げ方、ゲームのやり方、レッスンへのスムーズな移行方法、子どもたちのエネルギーを上手にコントロールする方法など、実際の経験に基づいたノウハウをロールプレイングを交えながら学びました。

集中研修が終わったら、いよいよ一緒にミニストリーを行うチームの発表。各チームにインターン生が1～2名ずつ割り当てられるのですが、私は全米で一番貧困率の高いブロンクス地区担当のチームに配属となりました。



主なミニストリー

① Visitation（訪問活動）

MWCミニストリーの基盤となるのが、訪問活動。ミニストリー部門のスタッフは全員1エリアずつ担当を持ち、週1回子どもたちの家庭を訪問します。スポンサー制度に登録している子どもたちに届いたギフトを届けるのもそのひとつ。インターン生は1人でエリアを任されるケースと、スタッフを手伝うケースに分かれるのですが、私はブロンクスの中央西側のエリアを任されることになりました。毎週1人で2時間かけて電車でブロンクスまで行き、子どもたちを訪問していくのですが、この訪問活動は日本にいたらとても想像できないような世界を私に見せてくれました。

主に貧困層が住む担当エリアのビルはどれも汚く、ドアや階段はいつも糞尿や血や落書きで汚れており、ドラッグの匂いが充満していました。ビルの最上階から1階まで、多い日には10個以上のビルを渡り歩き何百戸というドアをノック

していくのですが、ひとつひとつのドアの向こうには色々な世界がありました。優しい人もいれば、威嚇して怒鳴ってくるギャングメンバーの男性、ドラッグでハイになっており会話の成り立たない女の子、英語のわからない移民の母親、ゴキブリが何匹も這い回る部屋…。



訪問前には、スポンサーからのプレゼントをチェック

特に私が担当するエリアは大部分が黒人で、話す英語も標準英語とは全く違うこともあるため、最初はどの関係を築いていけばいいのかわかりませんでした。でも毎週訪問を繰り返すうちに、それぞれの家庭に色々な背景があり、みんな私たちと同じ悩みや痛みを抱えながら懸命に生きているんだ、ということが見えてきました。すると自然と恐怖心は消え、どんな人が相手であっても「神様はこの人にどんなプランを持っているんだろう」、「自分はこの人の人生にどんな影響を与えられるんだろう」、と考えるようになりました。そして神様が

自分を用いてくれることを信じて自分のベストを尽くそう、と決断をしたときから、玄関先での会話のひとつひとつが自分にとって大切なものになっていきました。

またスラム街に住む子どもたちは親が学校以外の外出を禁止しているケースも多く、毎週訪ねてきてくれる MWC スタッフが唯一の訪問者というケースも珍しくありません。顔見知りになった子どもたちは、毎週待ちきれない様子でドアを開け、キラキラとした笑顔で出迎えてくれます。その笑顔を見ると、1日中2万歩近く歩き回って足がパンパンになっていても、一瞬で疲れが吹っ飛ぶのです。結局訪問活動で一番大切だったのは、文化が違うとか、言葉が分からないとか、なんだか怖いとか、そういった自分の中のどうでもいい恐怖心や言い訳を捨てて、愛をもって相手に接するだけ、ということをもっと体感したことでした。



たくさんのハードルを乗り越えて、多くのことを体験された楊様。来月は、道端教会学校の活動レポートです。そして、研修を終えられた後のご感想もお楽しみに。インターンシップについてのお問い合わせは日本事務所まで。



メトロ・フィリピンスタッフの活動報告会

今回の現地報告回は、昨年に続き2回目となりました。昨年は、初めてでもあり、手探りの開催でご連絡もできませんでした。今回は、事前にお招きくださる教会やグループを募集しましたので、複数の方々からお声かけいただき、充実した報告会になりましたことを感謝しています。貴重なお時間と場所をご提供くださった皆様にお礼申し上げます。

今回は、大小合わせて11箇所での報告会を開催し、万代牧師のラジオ番組では、地方局ではありますが南海放送ラジオで、2週連続の出演となり多くの方々から反響をいただきました。

参加された皆様からは、とても感動し、信仰の重要性を再確認したと、嬉しいご感想をいただき、新たなスポンサー契約も、十数件いただきました。皆様にメトロの働きを評価していただいた証拠だと喜んでます。CGNTV で取り上げられた内容は、以下のサイトでご覧いただけます。
<https://youtu.be/tkQuEbV133g>

日本事務所からのお知らせとお願い

里親募集中です！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

子どものご支援金額は、ひと月 4,500 円です。

お祝いメッセージ&献金！

ビル・ウィルソン先生は、今年 70 歳を迎え、同時に献身生活 50 周年を迎えられます。

この記念すべき年に、特別なお祝いメッセージと支援献金を募集しています。幼いときから神に選ばれ、壮絶な試練を信仰によって乗り越え働きを続けるビル先生を皆様からの祈りを込めたメッセージと献金によってぜひ励ましていただきたいと願っています。

さらに働きを拡大し、全世界の、見捨てられた子どもたちの健康と生活を守り、最も必要な、イエス・キリストによる魂の救いを届けるために皆様の力がどうしても必要です。

メッセージ（日本語でも結構です）と献金は、日本事務所宛にお願いいたします。

セミナーCD・DVD 予約！

今回、全国各地で開催されましたビル・ウィルソン師のセミナーの中から厳選された 2 回のセミナーを、ベストセレクションとして販売いたします。

編集後の作成になりますので、8 月中旬頃からの発送になりますが、現在予約受け付け中ですので、ぜひお早めにご予約ください。

録画 DVD：各 1 回講演分は 2,000 円

2 回セットは特別価格 3,500 円

録音 CD：各 1 回講演分は、1,500 円

2 回セットは特別価格 2,500 円

*いずれも別途送料が 210 円かかります。

お求めは日本事務所までご連絡ください。

日本事務所よりごあいさつ！

まだ私はセミナーの最中ですが、すでに開催されたセミナーにご参加くださった皆様、新しくスポンサーになってくださった皆様に心から感謝申し上げます。

このレポートが届く頃にはセミナーも終了していますが、今回のセミナーでの感動を、どうか日々の信仰生活の中で具体的にできるところから実践していただきたいと願います。

また、今回のセミナーに残念ながらご参加いただけなかった皆様には、来月発売されるセミナーの CD や DVD をお買い求めいただき感動と信仰の熱意を共有していただければと思います。

皆様の尊いご支援に心から感謝し、主の豊かな祝福と恵みをお祈り申し上げます。

● 日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 TFC 内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <http://metrojapan.seesaa.net/>

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン

